

令和5年度

関係人口創出・拡大のための対流促進事業
(中間支援組織の提案型モデル事業)

事業の実施結果
(概要)

団体名	村おこしNPO法人ECOFF
事業名	全国各地の学生有志と連携した離島・農山漁村住み込み型ボランティアの新規受入地域創出事業「村おこしフロンティア」

- 関係人口創出のための離島・農山漁村住み込み型ボランティアの開発と改善、および参加者層である大学生の長期休暇期間外に都市住民と地域住民が交流できるイベントを実施するために、現役大学生や大学ボランティアサークルと連携した学生支部を結成し、新たなボランティアプログラムとイベントを実施した。

主な活動内容

1. 新規プログラムの作成と実施

- 大学サークルと連携し、山形県上山市で、現地住み込み型ボランティアプログラムの作成を行った。

2. 新規プログラム作成のための調査

- 全国から公募した大学生を学生支部として組織し、主に山形県最上市と鹿児島県奄美大島で現地住み込み型ボランティアプログラム作成のための調査を行った。

3. 関係人口創出のためのイベントの実施

- 大学サークルと連携し、千葉県長生郡で現地住民と都市住民が交流できる年越しイベントを行った。

主な成果

1. 参加者や地域の声

- 参加者は地元住民との交流を通じ、その地域に必要とされるものや、そこにある意味を考えながらその人の思いや意見を聞いたのは面白い体験だったと答えた。
- 地域住民は、予想以上に多くの学生が地域を訪れたことに喜びと驚きを感じていた。

2. 地域への影響や関係人口側の変容・文化的充足感

- 定期的に学生が訪れる基盤ができたことで、そこを初めて訪れる若者でも地域に溶け込みやすくなった。

3. 事業を通じて得られた気づきや知見

- モニターツアーや事前の地域調査を行うことでスムーズにプログラムの作成ができることが証明された。



学生パートナーとのオンラインMTGの様子



最上コースの調査の様子



年越しイベントの様子

かみのやま温泉コースは、ECOFF学生パートナーがプロデュースしています！

今回、学生パートナーとして山形県かみのやま温泉の10店舗のプログラムを作成させていただきました。

私たちは郡内の大学に通う大学生なのですが、プログラム作成にあたって山形市に初めて何ヵ所にも足を運ぶのは、初めての経験だったので大変でした。正直、東京のように遊ぶところやショッピングセンターなどがたくさんあるというだけではおもしろくない、時間をかけてみると、行くことでいろいろ面白い発見がたくさんあることに気づかされました。

実際の経験値、時の移りかた、人の優しさなど、

その中でも特に印象に残っています。入った瞬間からその美しさに驚かされました。

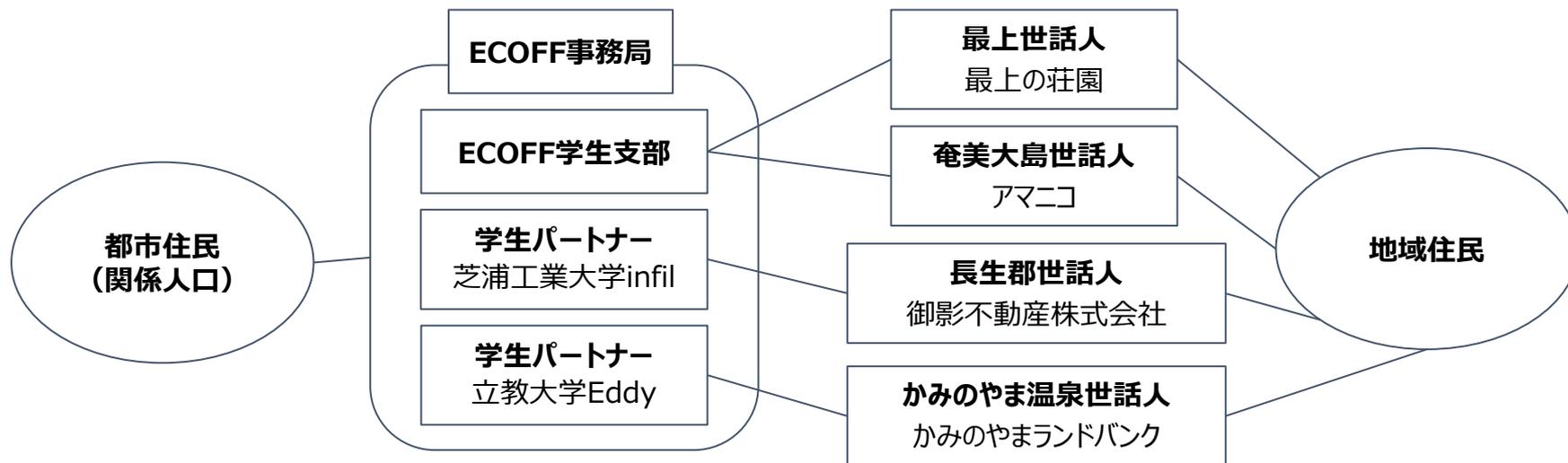
様々な森の中に行くと、実際に歩いていくことも、ホテルが用意している様子や、リスの運動会が楽しめてくるようです！

他にも地域のイベントや観光客の役割など、普段の生活では経験できないことがたくさん経験できます。



募集ページのイメージ

事業実施体制・関係機関



団体名	役割
最上の荘園	最上コース世話人として学生支部と連携し、都市住民と地域住民の交流活性化に寄与
アマニコ（結人株式会社）	奄美大島コース世話人として学生支部と連携し、都市住民と地域住民の交流活性化に寄与
ECOFF学生支部	ECOFFリピーターの中の有志11名で結成。最上の荘園とアマニコと協力し、各地域の調査およびプログラム開発、モニターとしての参加、SNSの運営を実施
御影不動産株式会社	長生郡コース世話人として学生パートナーと連携し、都市住民と地域住民の交流活性化に寄与
芝浦工業大学infil	長生郡コースでのイベントの企画と実施
かみのやまランドバンク	かみのやま温泉コース世話人として学生パートナーと連携し、都市住民と地域住民の交流活性化に寄与
立教大学Eddy	かみのやまランドバンクと協力し、プログラムを開発し、モニターとして参加
ECOFF事務局	関係機関全ての調整等全体の統括

次年度以降の事業展開

- 次年度以降は、半年おきに学生支部と学生パートナーを募集し、関係人口の創出と拡大に寄与できる人材を安定的に確保できるよう、既存プログラム参加者向けに募集告知を行う。
- 本年度の事業実施の結果、新規世話人候補がいる場合、学生支部または学生パートナーがモニターツアーを実施する流れがスムーズかつ地域側の主体的な参画に効果的であることがわかった。そのため、次年度以降はこれをより体系的なものにし、新規世話人および学生支部と学生パートナーが参入しやすいようにする。
- 本年度の事業を実施しているなかで、複数の新規世話人候補が見つかった。そこで次年度以降はそれらの新規世話人候補のもとで活動を実施し、持続的に関係人口の創出と拡大に寄与できるようにする。
- 本年度から本格的なプログラムを開始した地域に関しては、今後も持続的に活動を行えるように学生パートナーが引き続きサポートを行う。

【事業スケジュール】

- 4月：新規学生支部メンバー・学生パートナーの募集（前期）
- 5月～7月：新規受入世話人とのオンラインMTG、プログラム作成
- 8月～9月：新規受入地域でのモニターツアーの実施、募集ページ作成
- 10月：新規学生支部メンバー・学生パートナーの募集（後期）
- 11月～1月：新規受入世話人とのオンラインMTG、プログラム作成
- 2月～3月：8～9月モニターツアー実施地域の一般公募でのプログラム実施、新規受入地域でのモニターツアーの実施、募集ページ作成

(千円)	費目	R6	R7	R8
支出	旅費交通費	130	249	362
	広告宣伝費	30	71	118
収入	参加費	80	160	240
	入会金・寄附金	398	796	1,194
活動実施地域数		4	8	12

自立・自走化にあたっての課題

- 多忙な学生に今後も積極的な参画をしてもらうためには、役割分担を明確にしたり、オンラインMTGに参加しやすくするなど工夫が必要である。
- 学生数に対し新規世話人候補数が多いと学生1人当たりの負担が過多になるため双方の数量の調整が必要である。